



2013年5月16日

サノフィ、小児の糖尿病患者さん支援活動に貢献

サノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:ジェズ・モールディング、以下「サノフィ」)は、本年1月に糖尿病専門医の方々を対象に実施したインスリン治療に関するアンケート調査活動を通して、公益社団法人 日本糖尿病協会(理事長:清野 裕、所在地:東京都千代田区、以下「日本糖尿病協会」)の小児糖尿病基金に804万4,000円の寄付を行いましたのでお知らせします。

本アンケートは、インスリン治療に関する調査をサノフィのMRが直接、各担当医師に依頼して実施したもので、8,044件の回答を得ることができました。サノフィでは、頂いた回答1件につき1,000円を小児の糖尿病患者さん支援のために寄付することとし、この度、総額804万4,000円を小児糖尿病基金に寄付いたしました。寄付金は小児糖尿病基金を通して、小児糖尿病に関する知識の普及啓発、患者さんとその家族の方々の療育指導や研究活動など、小児糖尿病対策事業の推進に役立てられます。

サノフィは、「日本の健康と笑顔に貢献し、最も信頼されるヘルスケアリーダーになる」というビジョンのもと、日本の小児糖尿病患者さんの生活の質の向上を目指し、今後もより一層の支援活動を進めて参ります。

以上

サノフィの糖尿病領域での取り組み

サノフィは、日本の糖尿病領域において経口血糖降下剤とインスリン製剤を提供し、各治療段階において糖尿病患者さんに貢献する製薬企業です。経口血糖降下薬の主力製品として、2型糖尿病に使用されるスルホニルウレア系経口血糖降下剤(SU薬)「アマリール®」(一般名:グリメピリド)などがあり、1型および2型糖尿病を対象とする持効型溶解インスリンアナログ製剤「ランタス®」[一般名:インスリン グラルギン(遺伝子組換え)]および超速効型インスリンアナログ製剤「アピドラ®」[一般名:インスリン グルリジン(遺伝子組換え)]を提供しています。サノフィは2008年より、日本糖尿病協会の発展に寄与し、顕著な功績をあげた日本糖尿病協会の会員およびその関係者を表彰する、日本糖尿病協会「サノフィ賞」を後援しています。

また、糖尿病の患者さんや一般の方に向けて、糖尿病の情報ウェブサイト「糖尿病がよくわかる DM Town」(www.dm-town.com)、「よくわかるインスリン」(www.dm-town.com/insulin/)を開設して情報提供を行っています。日本糖尿病協会とサノフィが2006年より毎年実施しているHbA1c認知向上運動のイベントについても“DM-Town”(www.dm-town.com/hba1c/index2.html)においてご覧いただけます。

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー
www.sanofi.co.jp



サノフィについて

サノフィ・グループは、フランス・パリに本社を置きグローバル事業を統合的に展開するヘルスケアリーダーです。世界 100 カ国に 11 万人以上の社員を擁するサノフィは、糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、新生ジェンザイムの 7 つを成長基盤として、患者さんのニーズにフォーカスした治療ソリューションの創出・研究開発・販売を行っています。サノフィは、パリ(EURONEXT: SAN)およびニューヨーク(NYSE: SNY)に上場しています。

日本においては、約 3,000 人の社員が、「日本の健康と笑顔に貢献し、最も信頼されるヘルスケアリーダーになる」をビジョンに、医薬品の開発・製造・販売を行っています。詳細は、<http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。